

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**三井金属鉱業株式会社**（証券コード:5706）

## 【変更】

長期発行体格付	A-	→	A
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	A-	→	A

## 【据置】

国内CP格付	J-1
--------	-----

## ■格付事由

- エレクトロニクス向け製品を主に手掛ける機能材料事業や、亜鉛製錬に強みを持つ金属事業、自動車用ドアロックや触媒を製造するモビリティ事業を展開し、収益源が分散している。技術力や製品開発力が高く、極薄銅箔、二輪車向け触媒など高シェア製品を多数抱えている。また、全固体電池向け固体電解質や次世代半導体実装用特殊キャリアを中心に成長市場向けの製品開発にも取り組んでいる。
- 収益力が中期的に高まる方向にある。銅箔は23/3期下半期以降の一時的な需要の落ち込みはあったものの、足元では在庫調整が一巡している。今後は通信の高速・大容量化やAI関連などにかかる需要が増える見通しであり、銅箔を中心とした機能材料事業の利益貢献によって全社の業績が押し上げられると考えられる。金属事業は製錬所の連携を深化させることでリサイクル原料の処理量が増加するなど収益基盤が強化されている。財務面では大型投資が一巡し有利子負債が減少したほか、自己資本が増加し、財務内容の改善が進んだ。以上より、格付を1ノッチ引き上げてAとし、見通しを安定的とした。
- 25/3期経常利益は350億円（前期比21.4%減）と減益の計画である。ただ、24/3期は退職給付債務の算定に用いる割引率変更による影響や、一時的な受取配当金の増加などが含まれており、これらの一過性要因を除けばおおむね前期並みの利益となる見通しである。26/3期以降は業績改善が見込まれる。機能材料事業における販売数量の増加が寄与するとみられる。
- 自己資本比率は直近ボトムである20/3期末の30.7%から24/3期末に過去最高水準である43.5%まで改善した。中長期的には全固体電池向け固定電解質などの新製品の増産にかかる投資が発生する可能性がある。一方、キャッシュフロー創出力が向上しており、有利子負債の増加は抑制される見通しである。また、引き続き利益蓄積に伴う自己資本の拡充が見込まれ、当面は財務内容の改善基調が続くと考えられる。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

## ■格付対象

発行体：三井金属鉱業株式会社

## 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第19回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年11月28日	2024年11月28日	0.220%	A
第20回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年3月4日	2026年3月4日	0.160%	A
第21回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2022年3月3日	2027年3月3日	0.430%	A
第22回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2022年11月29日	2027年11月29日	0.580%	A

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第23回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2023年11月29日	2028年11月29日	0.863%	A

**【据置】**

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	500億円	J-1

**格付提供方針等に基づくその他開示事項**

- 信用格付を付与した年月日：2024年6月27日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：水川 雅義
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）、「非鉄金属」（2024年4月2日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 三井金属鉱業株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与に係る手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

**■留意事項**

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

**■NRSRO登録状況**

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

**■本件に関するお問い合わせ先**

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル